



2013年1月30日発行 第1号

発行元 SPARCS事務局
 発行責任者 院長 吉田茂昭
 連絡先 青森県立中央病院 経営企画室
 ☎ 017-726-8402

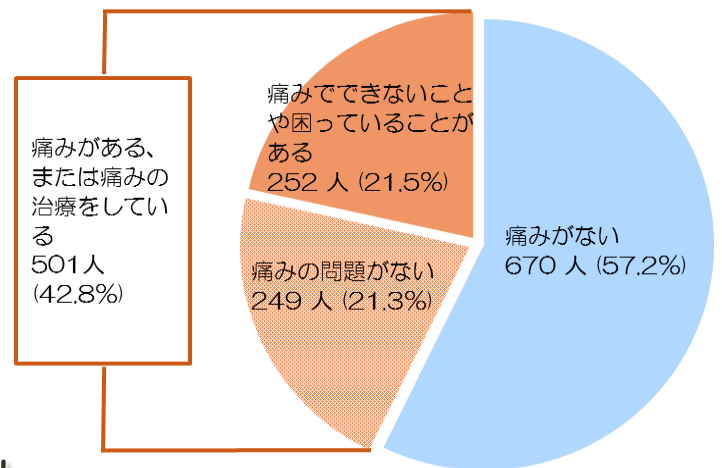
■ 現在、当院では、がん臨床研究事業(※1)が行われています。

この研究の目的は「この病院で、がん患者さんの痛みがどれくらい適切に取れているかを明らかにする」ことで、同時に「痛みが取れると、患者さんの生活の質がどれくらい良くなるのか」についても調査しています。研究は昨年2月から開始され、多くの患者さんにご協力いただきました。開始から今までの調査で分かったことについて、お知らせいたします。

■ 研究開始から9ヵ月 — いままでの調査で分かったこと。

2012年5月22日から10月26日までの間に入院した対象患者さん(※2)は、1,171人でした。このうち、入院時に『痛みがある、または痛みの治療をしている患者さん』は501人でした。さらに、この501人のうち252人の患者さんが「痛みでできないことや困っていることがある」と答えていました。この結果から、対象患者さんの5人に1人が『日常生活を制限されるなど、痛みで困っている患者さん』であることが分かりました。(右図:円グラフ参照)

対象患者さん1,171人の痛みの状況<入院時>



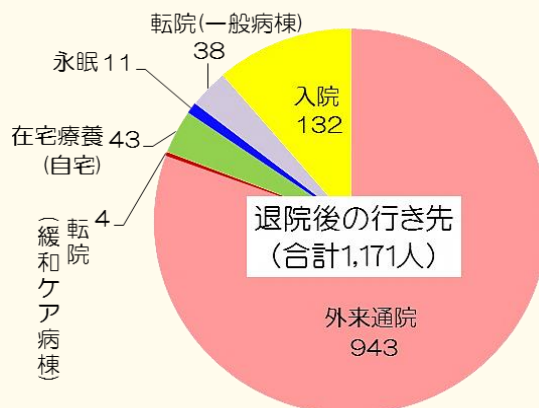
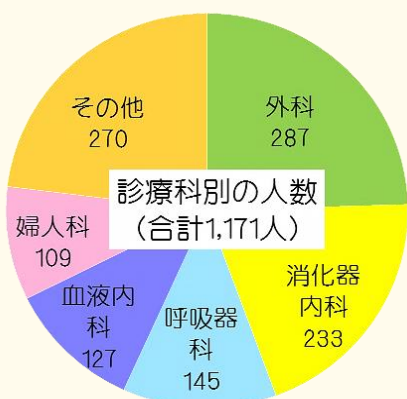
■ 聴かせてください、あなたの痛み。

WHO〔世界保健機関〕の調査によると、8～9割の患者さんの痛みを取ることができるといわれています。痛みがわかるのは患者さんご自身だけです。我慢せずに担当の医師や看護師にお伝えください。痛みを伝えることから、痛みの治療が始まります。

当院は、患者さんの痛みに真摯に耳を傾け、痛みの治療に取り組んでいきます。

※1 がん臨床研究事業 → 厚生労働省科学研究(がん臨床研究)の場班が実施する『がん疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究』略称SPARCS(スパークス)

<参考資料> 患者情報の背景



集計期間 2012.5.22～10.26
 全入院患者数 2,065人
 研究対象患者数 1,171人
 平均年齢 65.3才
 性別 男性627人(54%)
 女性544人(46%)